福島第一原子力発電所現地確認報告書

１　確認日

令和８年９月２５日（金）

２　確認箇所

タンクエリア（Ｂ、Ｇ１～Ｇ７、Ｊ１～Ｊ２）（図１）

３　確認項目

ＡＬＰＳ処理水等の保管等の状況

４　確認結果の概要

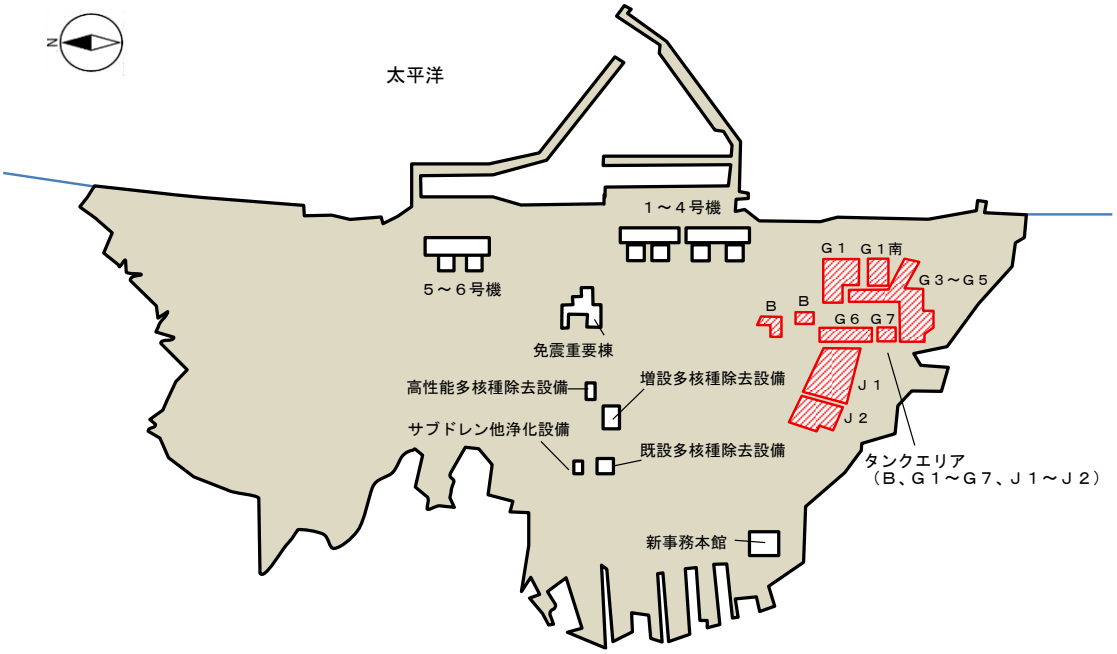
東京電力では、構内で発生した汚染水を多核種除去設備等で処理した水（以下「ＡＬＰＳ処理水等」という。）について、構内に設置した溶接型タンクに貯留し、定期的に巡視点検を行いながら管理している。

今回、これらのタンクが設置されているＢエリア、Ｇ１～Ｇ７エリア及びＪ１～Ｊ２エリアにおいて、溶接型タンク及びその周辺の状況を確認した。

・確認した範囲において、溶接型タンクに変形、損傷、漏えい等の異常は認められなかった。また、タンクエリアの堰内には雨水が滞留していたが、堰外への流出等は認められなかった。（写真１）

・一部のタンクエリアでは、タンク内面の補修工事等が実施されていた。また、処理途上水※の二次処理を安定的に実施するための移送配管（以下「処理途上水移送配管」という。）の設置工事が進められていた。（写真２）

※処理途上水：福島第一原子力発電所で発生した汚染水をＡＬＰＳ等で処理した水のうち、トリチウムを除く放射性核種の告示濃度比総和が１以上の水。



（図１）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真１－１）溶接型タンクの状況
（Ｂタンクエリア）



（写真１－２）溶接型タンクの状況
（Ｇ３タンクエリア）



（写真１－３）溶接型タンクの状況
（Ｇ６タンクエリア）



（写真１－４）溶接型タンクの状況
（Ｇ７タンクエリア）



（写真１－５）溶接型タンクの状況（Ｊ１タンクエリア）



（写真１－６）溶接型タンクの状況（Ｊ２タンクエリア）



（写真１－７）タンクエリア内の雨水の滞留状況（Ｇ４タンクエリア）



（写真１－８）タンクエリア内の雨水の滞留状況（Ｊ１タンクエリア）



（写真２－１）処理途上水移送配管の設置工事（Ｊ１タンクエリア①）



（写真２－２）処理途上水移送配管の設置工事（Ｊ１タンクエリア②）

５　プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。